

経営比較分析表（令和6年度決算）

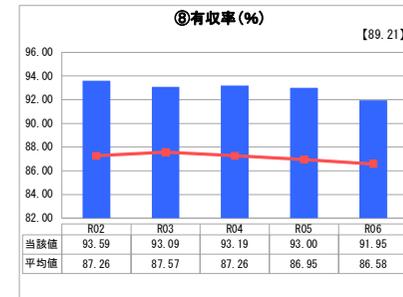
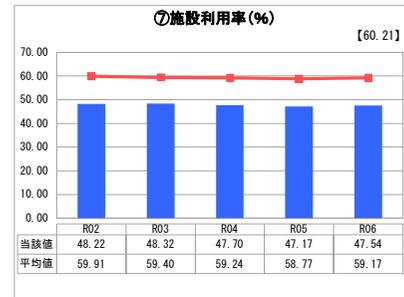
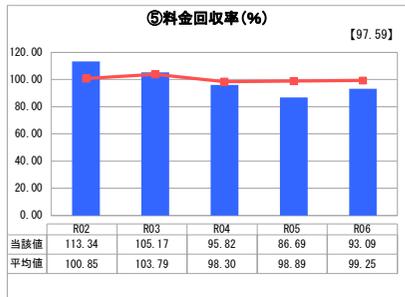
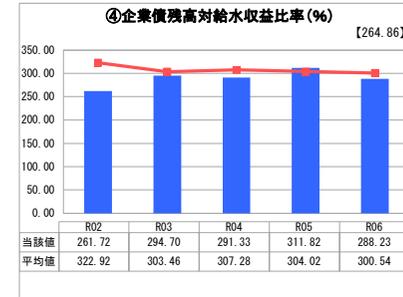
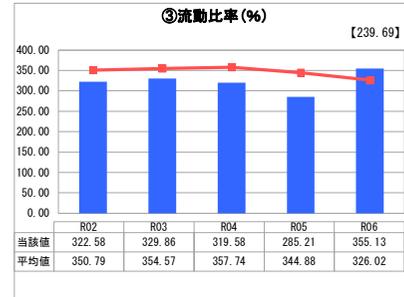
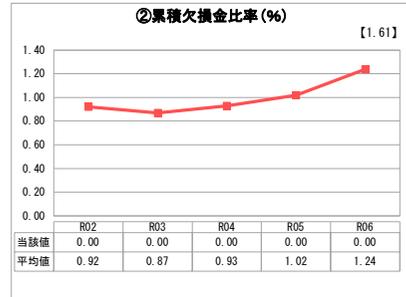
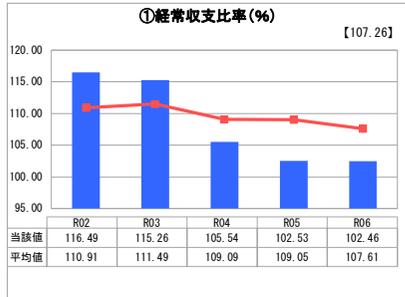
京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	70.59	100.00	2,854	

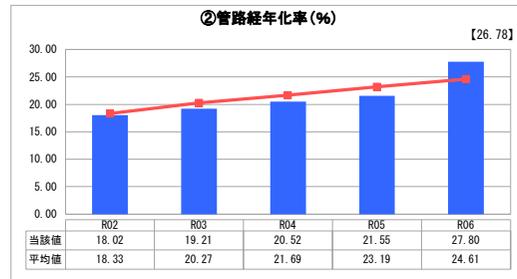
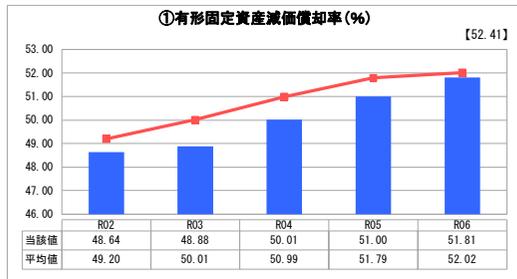
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
56,186	7.72	7,277.98
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
56,041	7.72	7,259.20

分析種別	当該団体値(当該値)	類似団体平均値(平均値)
令和6年度全国平均		

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
老朽化している浄水場施設の大規模な修繕を実施したため、数値が悪化していますが、100%以上を維持しています。

③流動比率
流動比率は類似団体平均を上回っており、現金等の流動資産の保有がやや多いと考えられます。

④企業債残高対給水収益比率
類似団体よりも低い値となっていますが、今後も引き続き水道施設の耐震化などを進めていくことで企業債の発行額が増加し、数値が悪化する可能性があります。経営戦略に基づく計画的な企業債の発行を行うことで、指標悪化の抑制を図ります。

⑤料金回収率
水道料金の減免（1期分）を行ったため、100%を下回っていますが、前年度と比較して料金回収率は改善しています。

⑥給水原価
浄水場の修繕に係る経費が増額してきていることで増加傾向にありますが、前年度と比較して給水原価が減少しています。

⑧有収率
有収率は類似団体平均を上回っており、施設の稼働率の向上に寄与していると考えられます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
概ね資産全体の半分程度償却が進んでいる状況で推移しています。

②管路経年化率
老朽管を積極的に更新していますが、法定耐用年数を経過した管路であっても、状態が良好で使用可能な管路は有効活用しています。

③管路更新率
基幹管路等の更新を進めたことで、管路更新率が類似団体平均を上回っています。今後も引き続き、基幹管路を中心とした管路の更新に積極的に取り組んでいきます。

全体総括

本市では「向日市上下水道事業経営戦略」を策定し、水道事業の経営健全化を図るための目標を定めるとともに、基幹管路耐震適合率の向上を目指してまいります。当該年度は、大規模な浄水場施設の修繕や水道料金の減免を行ったため、料金回収率、給水原価等の一部の指標が悪化していますが、経常収支比率では100%以上を維持する決算状況となりました。
しかしながら、今後も水道施設の耐震化や更新を進めていくため、建設改良費の増加と、それに伴う企業債発行額の増加が見込まれますことから、計画的な経営を行い、事業運営状況の改善を図ってまいります。